

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【タイトル】

モンスターハンター 狩人無双

【作者名】

桜吹雪

【あらすじ】

G級のハンターとなった主人公のフェンベルク。

ある日、ヤマツカミの討伐依頼を頼まれ、討伐することになった。

団長、シルバ、エリカの三人と共に古塔に向かう。

プロローグ

プロローグ

団長「此より、我が組は神聖なる場所、古塔に向かう」

辺りはずっしりとした空気が漂う。ポツケ村にある集会場に俺たちは集められた。今回のクエストはヤマツカミの討伐である。古塔を壊しそうになっているため、討伐してほしいという依頼であった。

俺は新しくG級のハンターになったフェンベルク。かの伝説の「疾風の翼」と呼ばれたハンターを目指すべく日々狩りを続けている。

団長「気を付けるのだ、奴の吸い込みは只じゃ済まぬ」

シルバ「新人、足引つ張るなよ？」

シルバは狩猟笛使いの男性で、時折俺と絡んでくるうるさいやつ。でもシルバがいないとたまに苦戦する時があるのであまり憎めない存在である。

エリカ「フェンさん、気を付けてださいね？」

エリカは弓使いの女性で、援護を重点的に行ってくれる。王国の姫でありながらも狩りをする姿はまさに優雅である。

フェンベルク「はい、気を付けます」

俺は太刀使い、皆からはフェンと呼ばれている。

団長「ふむ、では行くでしょう」

団長、本名は不明の謎の多い団長。名を捨てたと言ってる、理由は自分の名前が葛藤の原因になるというみみっちい理由で捨てたらしい。大剣使いである。

荷物を荷台に乗せ、遅いがゆっくりと古塔に近づいているのが解った。

ポツケ村から片道1週間はすると言われてる高くそびえたつ塔。

俺たちはその古の地に辿り着く。

続く